

# 杵築の魅力を発掘

日本文理大学 近藤研アンド池畑研

## 敷地番号②

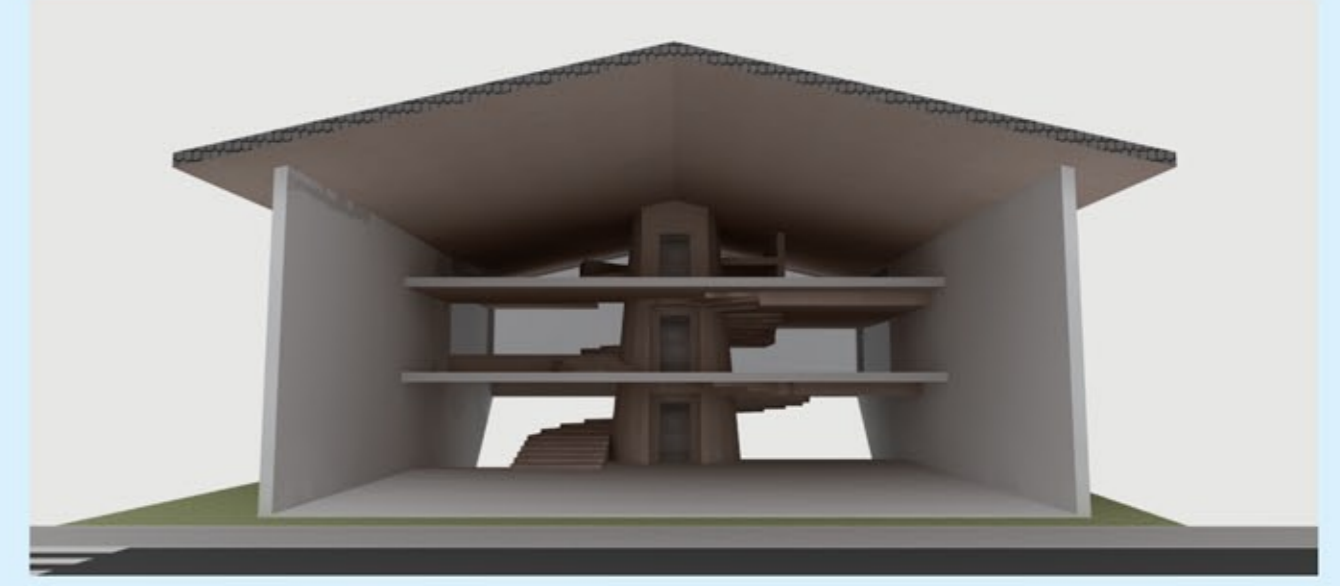


この建物は天神祭りに使われる山車・御神輿・毛槍を格納展示する建物である。展示物が建物の外からも見えるようガラス張りとした。山車を動かすと白い内壁がスクリーンとなりバーチャルまつり体験を楽しむことができるようになっている。

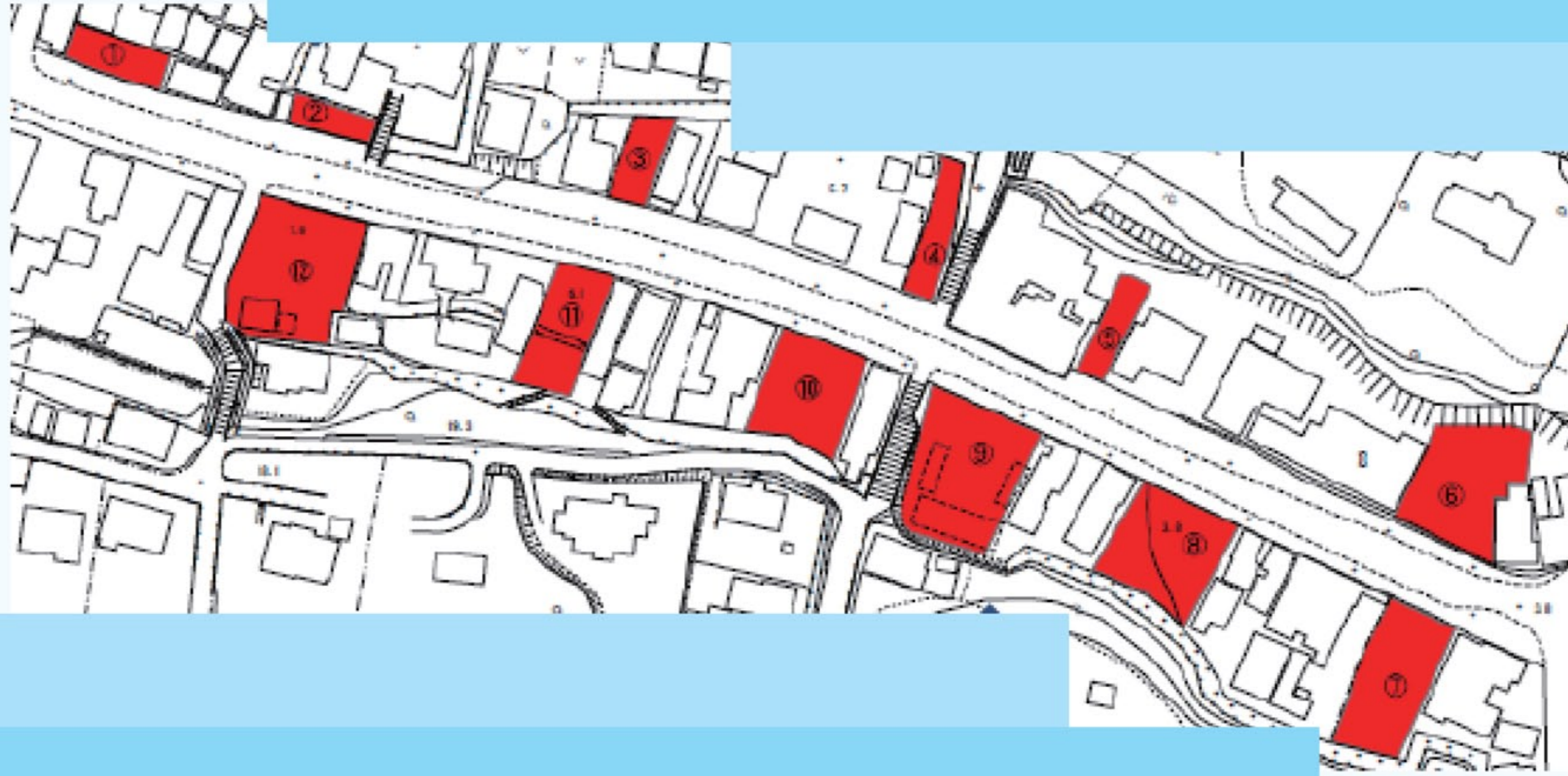


今回私たちがそれぞれ建物を設計するに当たり、「杵築の城下町の雰囲気壊さない」ということを絶対条件にし、それぞれが思う杵築の町をより良くする建築物を考えた。また、私たちは杵築に流れる川を蛍が住むビオトープにすることも考えている。風情ある杵築の城下町に蛍が舞う幻想的な空間を思い浮かべながら、それぞれ設計した。

## 敷地番号⑫



この建物は中央の螺旋階段が幹を、各フロアが葉を表現しており、建物全体で一本の樹を表現し、その木の中で地域のお年寄りや子どもたち、そして他の町から訪れた観光客が交流するというイメージで設計した。道路側からは建物内での交流が見えるため、気軽に立ち寄れる雰囲気を持っている。この建物の裏側には、もともと流れている川がある。この川を活かすために地下一階を設け子どもたちが遊べるようにした。建物内部は壁を少なくし吹き抜けを多用すると同時に各フロアのレベルの差を小さくすることで、周りとのコミュニケーションをとりやすくしている。道路側に設けられた大きな吹き抜けには山車が並べて置かれ、子どもたちや観光客に杵築の伝統文化を伝える空間とした。



## 敷地番号④



憩いの場  
普段は甘味処。(団子屋)→柱の間にあるベンチに腰掛け食事や休憩ができる。又は、観光案内所。(観光案内はもちろん、酢屋の坂など坂道を通る人用に杖や、また和傘等を貸出もする)  
地域の人々はもちろん、観光客にとっても気軽に立ち寄れる場となっている。

## 敷地番号⑧



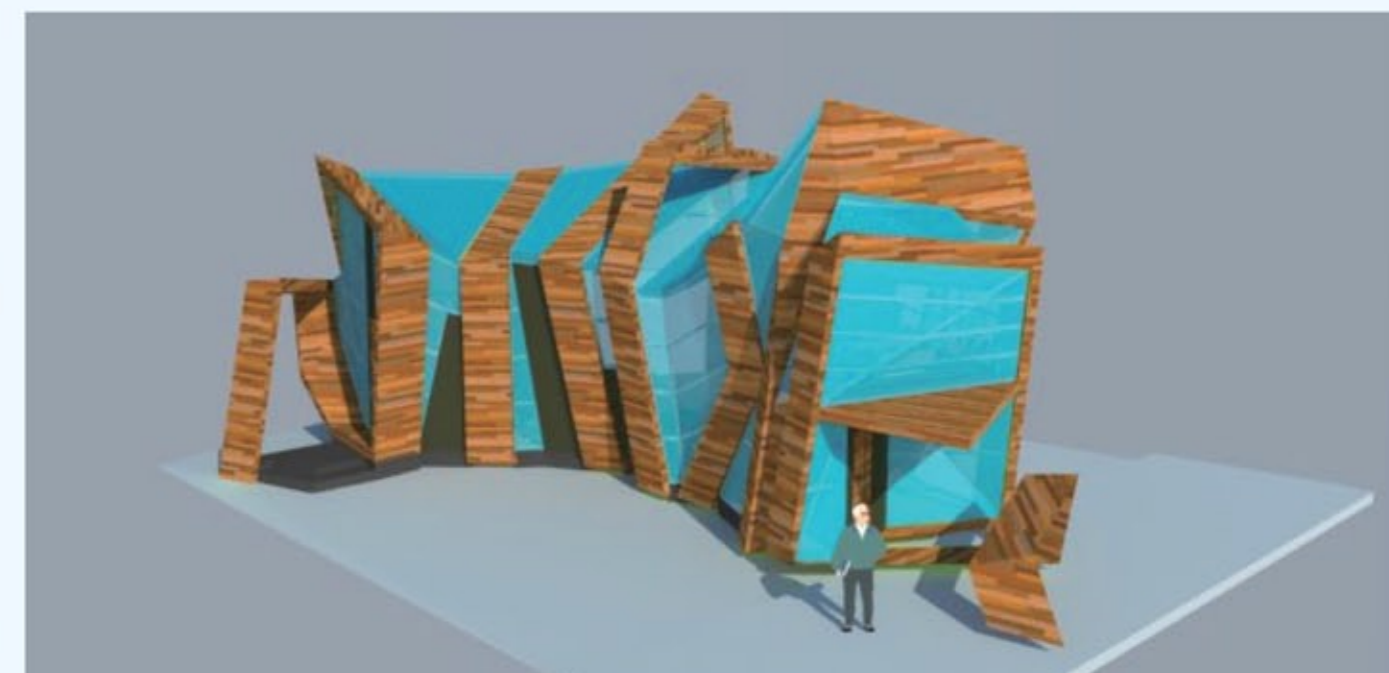
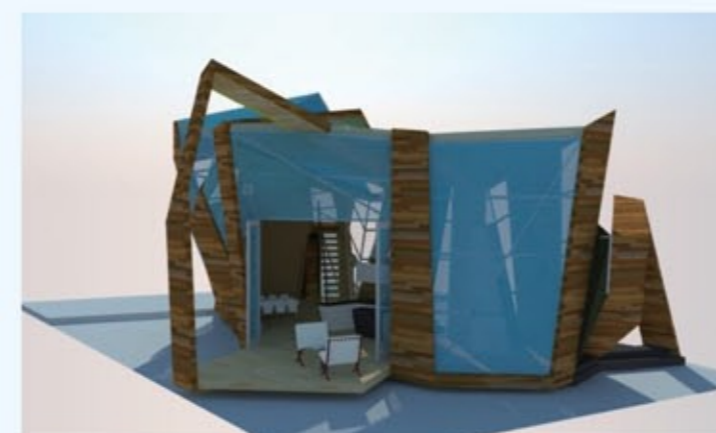
その場で調理したものを買うことができる店  
キッチンカウンターを3つ設置し、そのすぐ前に棚を置くことでその場ですぐ売れるようにした。チャレンジショップとして、イベントをやっても人がたくさん入るように広くしている。イベントをやらないときには、キッチンに蓋等をすることで普通の直売所としても使えるようになっている。

## 敷地番号⑩



宿泊施設  
杵築に流れている川を利用し、池を作る。そして池の上に宿泊施設を建て、池の上で生活しているという非日常を観光客に体験してもらおう。中から漏れる光が池に反射し、幻想的な空間を観光客に体験してもらえらる。

## 敷地番号⑨



杵築を永遠に覚えてほしいという建物  
地面につながっているMobius stripの中から見える杵築の町はまた新しい風景になる。その中で休憩によって新しい経験を得てほしい。また外の景色がガラスに映り、外からは杵築の町の景色の景色が映っているMobius stripのように見える。杵築の町をゆっくり楽しむことができる建物である。